

2017年11月8日

報道関係各位

株式会社カウリス

**企業の IoT 化に必須なセキュリティ
ID/パスワードの不正アクセスに特化した“なりすまし検知”
AI 活用した日本初のソリューションを提供するスタートアップ**

グローバル展開をさらに強化するため新役員体制を発表

**取締役副社長/元 Uber Japan 代表 塩濱剛治 就任
社外取締役/元ソニー会長兼 CEO 出井伸之 就任**

法人向け不正アクセス検知サービスを提供する株式会社カウリス(本社:東京都千代田区、代表取締役:島津敦好、以下「カウリス」)は、2017年11月1日(水)付で塩濱剛治(株式会社カウリス 取締役副社長 / 元 Uber Japan 代表)、出井伸之(クオンタムリープ株式会社 ファウンダー・CEO / 元ソニーグループ CEO / 株式会社カウリス 社外取締役)を加えた新たな役員人事を決定しました。



(左から株式会社カウリス社外取締役の出井伸之氏、代表取締役の島津敦好氏、取締役副社長の塩濱剛治氏)

【新任役員就任の背景】

近年ますます脅威が高まるサイバー攻撃は、国際的に組織された複数の犯罪グループによって手口が巧妙になり、情報セキュリティ対策においてもグローバル思考なソリューション開発・提供の重要性が高まりつつあります。特に、近年急速な成長を見せるアジア地域では、中国におけるC2C決済の拡大等FinTech市場において非連続的な変化が発生しており、結果としてかつては考えられもしなかったサイバー空間における新たな脅威が日々発見されています。

上記のような背景を踏まえ、Uber・RosettaStone・SurveyMonkeyなど数々のグローバル企業の日本法人立ち上げを経験しスタートアップのグローバル展開に関して多くの経験を有する塩濱剛治、元ソニーグループCEOで日本・アジアにおける多数のグローバル企業での社外取締役経験を有する出井伸之の2名を役員に迎え入れ、製品開発・新規市場開拓・海外企業とのパートナーシップ等においてグローバル展開の強化を図ります。

【新任役員の略歴および就任に際してのコメント】

■ 塩濱剛治/しおはま・たけじ(株式会社カウリス 取締役副社長)

シェアリングエコノミーの代表格である Uber、オンライン語学学習の先駆企業 RosettaStone、クラウド型サーベイプラットフォームを提供する SurveyMonkey など、数々のグローバルリーダー企業の日本法人代表として各社の日本国内での礎を築く。以前は A.T.カーニーやアクセンチュアなどの戦略コンサルティングファーム、SAP、アスクル、レブロン等、日米欧の企業にてマネジメントリーダーとして活躍。現在では(株)インベスターーズクラウド、(株)アップルにて社外取締役を務める。シカゴ大学ブーススクール MBA。

■ 塩濱剛治のコメント

日本初で独自のサイバーセキュリティ・プラットフォームの提供を目指すカウリスには、その趣旨に賛同し創業当初から取締役として経営に参画してきました。その後、ソニー様、電通国際情報サービス様からご出資をいただき、資金面・事業展開面でもより強固な体制となり、銀行・証券・クレジットカード・e-コマース・携帯キャリア・インフラ産業など多くの優良企業からカウリスの主力製品である FraudAlert 導入をご検討いただいている状況で、国内市場においては順調に事業が立ち上がりつつあります。スタートアップとして今後も着実に成長を進めるためには、社内のマネジメント体制の構築・確立が欠かせません。さらに成長を加速していくためには、グローバル市場での展開も同時に進めていくことが必要になってきます。そこに私のこれまでの経験や知識を活用しようと代表の島津と合意し、取締役副社長としてカウリス事業の成長発展に寄与すべく、取り組むことに致しました。

■ 出井伸之/いでい・のぶゆき(クオンタムリープ株式会社ファウンダー・CEO、株式会社カウリス 社外取締役)

1995 年ソニー社長就任し、以後約 10 年にわたり SONY 経営のトップを担った。退任後、2006 年 9 月クオンタムリープ株式会社設立。同社のファウンダー&CEO として、大企業変革支援やベンチャー企業の育成支援活動を行っている。他にレノボグループ、マネックスグループ、フリービット、ストライプインターナショナルで社外取締役などを務める。

■ 出井伸之のコメント

サイバーセキュリティの重要性については、2000 年ごろの IT 戦略会議で議長を務めていたときから高く関心を持っていました。一方、現在は全てのデバイスがインターネットでつながる、IoT 時代の入り口。サイバーセキュリティの概念そのものが転換点に立っていることを感じています。これまでのサイバーセキュリティは、いわば PC のセキュリティ。マイクロソフトのような大手 IT ベンダーによって、ある程度保障される世界でした。しかし、IoT 時代において、実は私たちを守ってくれるプレイヤーは近くにいません。私たちは気づかぬうちに、丸裸にされているのです。私自身はサイバーセキュリティに関する、専門的な知識人ではありません。しかし、テクノロジーの進化がますます速くなる現在において、サイバーセキュリティがそのすべての根底に必要な OS になることは間違いないと思います。カウリスの非常に前向きでユニークな経営チームと、海外に対してもいち早くアクションをとる積極的な姿勢に好感を持ち、彼らと共にセキュリティの世界に身を投じてみたいと思い、この度カウリスの社外取締役就任をする運びとなりました。日本発の世界に誇るサービスとして成長していってほしいと考えており、自身もその一翼を担えればと考えております。

【今後のグローバル戦略】

ここ数年においてインターネット人口が急増しているアジア太平洋地域を最初のフォーカスとして、今後の海外展開を積極的に進めます。具体的には、アジアにおける Fintech ハブとして名高いシンガポールもしくは香港へ来年に海外拠点を設立し、現地政府や販売パートナーの支援を得ながら金融機関をはじめとする地場企業への導入に向けた取り組みを進めます。また今後において人口増、モバイルインターネットの普及、キャッシュレス化の進展によりますます市場拡大が期待される中国・インド・インドネシア等の地域を重要マーケットと定め、各地域でのジョイント・ベンチャー設立も視野に入れた現地企業とのパートナーシップを進めて参ります。現在までに、Singapore Fintech Festival、Hong Kong Fintech Week をはじめとする主要 Fintech イベント出展ならびに現地キーパーソンとのリレーション作りを進展中。今後、現地アクセラレーター参加等を通じて銀行との実証実験などの取り組みを進めていく予定です。

株式会社カウリス について

カウリスは、法人向け不正アクセス検知サービスを展開するスタートアップ企業です。2016年10月に提供を開始した FraudAlert は、ユーザーのIPアドレスや位置情報など50以上※の要素を「その人らしさ」や「ふるまい」として機械学習によりパターン化し、アクセスが行われた際にリアルタイムで照合することで不正なアクセスを検知するサービスです。不正が疑われるアクセスに対してのみ追加の認証を促すことで、一般のユーザーに対するユーザビリティを損なわずにセキュリティを強化することが可能です。すでに大手通信事業者やECサイト運営事業者等に採用され、対象アカウント数は全国で約7,000万※に上ります。

※いずれも2017年10月末現在。

会社名 株式会社カウリス

代表者 代表取締役 島津敦好

本社所在地 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル4F FINOLAB

設立 2015年12月

資本金 45,500,000円(資本準備金含む)

事業内容 情報セキュリティ製品の開発・提供、コンサルティング等

URL <https://caulis.jp>

【本リリースに関するお問合せ先】

株式会社カウリス

経営企画室 森下 TEL: 03-4520-7975 E-Mail: pr@caulis.jp